

ふじさわ市 議会だより

主 な 内 容

- 令和3年度決算審査のあらまし…… 2面
- 決算に対する各会派の要望・意見… 3面
- 一般質問・意見書…………… 4面
- 一般質問…………… 5～6面
- 常任委員会・特別委員会の動き…… 7面
- 議案等審議結果一覧…………… 8面

No.247

発行 藤沢市議会 編集 広報広聴委員会 発行日 令和4年(2022年)11月10日
 ☎0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123
 ホームページアドレス <http://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/>



市議会
トップページ

9月定例会

藤沢に新たなプロスポーツの歴史が始まる!!湘南ユナイテッドBC



原油価格・物価高騰への対応を図る

令和4年度一般会計補正予算を可決

9月定例会は、9月1日から10月7日までの37日間にわたって開催され、市長から提出された令和3年度9会計決算等をはじめ、「令和4年度藤沢市一般会計補正予算(第5号)」など32議案が可決、同意、認定されたほか、11件の報告を受けました。

また、議員提出による「養親希望者手数料負担軽減事業の導入を求める意見書について」が可決されました。

○令和4年度藤沢市一般会計補正予算(第5号)・(第6号)・(第7号)

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ19億6072万8千円(第5号)、9313万6千円(第6号)、29億6384万7千円(第7号)を追加し、補正後の予算総額を1706億6732万9千円とする。

主な補正内容は、次のとおり。

(第5号)

▽中高生等学び応援事業費
1億4869万5千円

▽コロナ禍において、生活環境が制限される中、本を通じた学びを支援するために、中・高校生等へ図書カードを配布するもの。

▽感染症対策事業費
9億7633万4千円

▽新型コロナウイルス感染者の対応及び、新型コロナウイルスワクチン接種の継続に要する経費を増額するもの。

▽農業者等原油価格・物価高騰対応助成費
2億4589万4千円

畜産農家への飼料購入費の助成、市内販売農家への肥料購入費の助成、国の施設園芸セーフティネット構築事業に加入する市内農業者への積立金の助成、市内水利組合等への電気料金の助成に係る経費。

▽地域交通・運輸事業者支援金
1億9556万7千円

原油価格・物価高騰による、交通・運輸事業者への燃料費の助成に係る経費。

▽市道新設改良費
2785万2千円

藤沢駅辻堂駅線の埋蔵文化財発掘調査、宮原百石線支障物等調査及び善行5号線防護柵等整備工事に係る経費。

▽電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費
23億4253万7千円

住民税非課税世帯以外の世帯を含む低所得世帯を対象とした、電力・ガスを含むエネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するため、1世帯当たり5万円を支給するもの。

▽地域経済消費支援事業費
6億2131万円

電力・ガスを含むエネルギーや食料品等の価格高騰による市内経済への影響を受け、商品の購入やサービスの提供を受ける際に、市の提供を受けるもの。

○藤沢市自転車等駐車場条例の一部改正について

この議案は、辻堂駅南口自転車等駐車場、長後駅東口自転車等駐車場、鶴沼海岸駅自転車等駐車場の出入場時間について、午前6時30分から午後8時までを、午前0時から午後12時までに改めるもの。

○藤沢市公衆浴場法施行条例の一部改正について

この議案は、公衆浴場の入浴者の混浴に関する意識、公衆浴場を営業者者へのトラブル事例、幼児や小学生の性に関する意識や実態等に関し、国が実施した調査研究の結果を踏まえ、公衆浴場の男女混浴制限年齢を改めることに伴い、条例の一部を改正するもの。

○藤沢市常勤の特別職員の給与に関する条例の臨時特例条例の制定について

この議案は、指定道路調書の誤記による損害賠償の

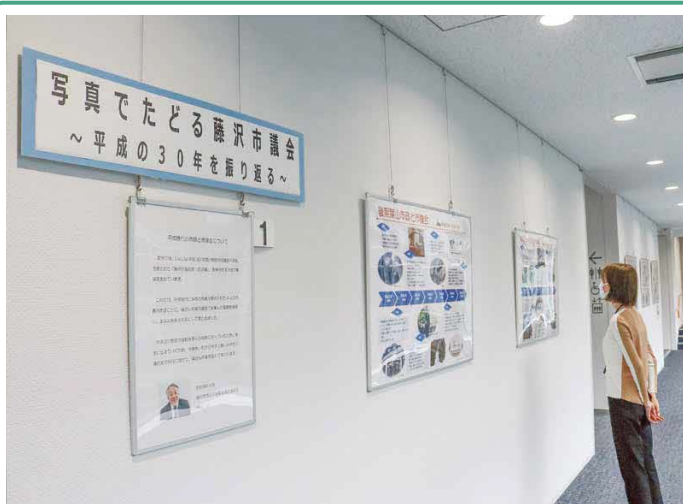
・公衆浴場における男女の件に関し、事務上のミスが多額の公金支出につながる事態に及んだことから、市長の責任を明確にするため、給料を減額する臨時特例条例を制定するもの。

【施行日】公布の日

【施行日】公布の日

議会の動き

- 【8月】
- 23日 行政改革等特別委員会
- 29日 議会運営委員会
- 【9月】
- 1日 議会運営委員会
本会議(第1日)
広報広聴委員会
- 3日 災害対策等特別委員会
- 5日 議会運営委員会
本会議(第2日)
補正予算常任委員会
建設経済常任委員会
- 6日 厚生環境常任委員会
- 7日 子ども文教常任委員会
- 8日 総務常任委員会
- 9日 補正予算常任委員会
- 12日 議会史編さん委員会
- 13日 議会運営委員会
本会議(第3日)
- 15日 議会運営委員会
本会議(第4日)
- 20日 議会運営委員会
本会議(第5日)
- 21日 議会運営委員会
本会議(第6日)
- 22日 議会運営委員会
本会議(第7日)
- 27日 議会運営委員会
本会議(第8日)
補正予算常任委員会
決算特別委員会
- 28日 決算特別委員会
- 29日 決算特別委員会
- 30日 決算特別委員会
- 【10月】
- 3日 決算特別委員会
- 4日 決算特別委員会
- 5日 議会運営委員会
本会議(第9日)
広報広聴委員会



平成の藤沢市議会を分かりやすく紹介しています

企画展示「写真でたどる藤沢市議会
『平成を振り返る』を展示しています」

市議会では10月から、議会史編さん作業の過程で収集した写真資料等を使用し、平成時代の4人の市長ごとに、主な市政の出来事を年表としてまとめた展示を行っています。ぜひ、本庁舎9階展示スペースへお越しください。

また、今年度末での編さん終了に向け、分かりやすく親しみやすい議会史を刊行できるように引き続き作業を進めていきます。

令和3年度 決算 審査 のあらまし

令和3年度一般会計及び8特別会計決算等のあわせて9認定議案(総額2,956億1,782万6,987円)について9月27日に設置された決算特別委員会において9月28日、29日、30日、10月3日、4日、5日の計6日間にわたり審査が行われました。その結果、10月7日の本会議で全決算議案が可決及び認定されました。ここでは、決算特別委員会の審査の概要をお知らせします。

令和3年度決算特別委員会委員

- | | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 北橋 節男 | 副委員長 | 安藤 好幸 |
| 委員 | 味村耕太郎 | 委員 | 西 智 |
| 〃 | 神尾 江里 | 〃 | 松長由美絵 |
| 〃 | 永井 譲 | 〃 | 甘粕 和彦 |
| 〃 | 佐野 洋 | 〃 | 武藤 正人 |

火災予防の広報手法

ラッピングバスの活用等 効果的な広報活動を展開する

質問 火災予防の広報手法について、どのような取組を実施しているか聞きたい。また、ラッピングバスによる広報を実施するに至った経緯を聞きたい。

答弁 火災予防の広報として、火災予防キャンペーン等のイベントの実施や、ホームページへの掲出、事業所等へのポスターの掲出、公共交通機関等を利用したデジタルサイネージの活用等、様々な媒体を活用して行ってきた。



新たなツールを活用して、消防広報の充実を図る

質問 ラッピングバスによる新たな広報手法の構築を含め、広く市民に周知する必要があると思うが、今後の火災予防広報の取組について聞きたい。

答弁 現在、ラッピングバス以外にも、消防局として公式のYouTubeやツイ

ッターを開発しており、市民のニーズを捉え、積極的に広報活動を行っているところである。

引き続き、様々なツールを活用し、より効果的な広報活動を展開していく。

質問 ワクチン接種をはじめ、新型コロナウイルス感染症への対応の総括について聞きたい。

答弁 個別接種と集団接種による市民一人一人の状況に合わせたワクチン接種の推進と、コロナ対応に係る人員体制、保健所機能の強化を図り、自宅療養サポートの充実や、重症化リスクの高い施設への重点対応など、感染フェーズに合わせた患者対応に努めた。これらの取組により、一定の効果があったと認識しているが、想定を上回る感染拡大により、医療機関や保健所の逼迫などの課題があった。

質問 今後のワクチン接種、コロナ対応の方向性について、市の考えを聞きたい。

答弁 今後は、社会経済活動との両立を前提とし、限られた医療資源の中で、重症化リスクの高い患者等に対する医療提供体制を確保し、変異株の特性を考慮した上で、自宅療養サポートの充実を図ることが重要と考えている。

新型コロナウイルス対応 支援提供体制を構築

質問 ワクチン接種をはじめ、新型コロナウイルス感染症への対応の総括について聞きたい。

答弁 個別接種と集団接種による市民一人一人の状況に合わせたワクチン接種の推進と、コロナ対応に係る人員体制、保健所機能の強化を図り、自宅療養サポートの充実や、重症化リスクの高い施設への重点対応など、感染フェーズに合わせた患者対応に努めた。これらの取組により、一定の効果があったと認識しているが、想定を上回る感染拡大により、医療機関や保健所の逼迫などの課題があった。

災害時の避難所運営 防災対策の取組 女性視点の被災者支援を

質問 防災対策には、女性と男性が災害から受ける影響の違いなどについて十分配慮された、男女共同参画

質問 防災対策には、女性と男性が災害から受ける影響の違いなどについて十分配慮された、男女共同参画

質問 防災対策には、女性と男性が災害から受ける影響の違いなどについて十分配慮された、男女共同参画



利用者の意見を取り入れ、公園遊具の選定を進める

公園遊具の選定 利用者の意見を

質問 公園施設の老朽化対策として、都市公園遊具点検業務委託を実施したが、点検結果について聞きたい。また、判定結果の悪い遊具への対応について聞きたい。

答弁 269公園で1075基の遊具点検を実施した。結果は使用可能なA判定から判定が1067基、使用不可となるD判定が8基あった。判定結果の悪い遊具は点検時に使用禁止措置を行い、修繕可能な遊具は補修し、撤去が必要な遊具は、撤去後に優先順位をつけた上で、新たな遊具を設置した。

質問 スクールロイヤールの活用

質問 スクールロイヤールの活用

質問 スクールロイヤールの活用

質問 スクールロイヤールの活用

質問 スクールロイヤールの活用

質問 スクールロイヤールの活用

質問 スクールロイヤールの活用

質問 スクールロイヤールの活用

質問 スクールロイヤールの活用

教育委員会委員の任命等に同意

○教育委員会委員の任命について
藤沢市教育委員会委員の1人が、令和4年9月30日をもって任期満了となるため、委員を任命することについて、議会の同意を求めるもの。
議会はこれに同意した。
任期は4年10月1日から8年9月30日までの4年間。
・石井由佳氏(新任、藤沢市在住)
○固定資産評価審査委員会委員の選任について
藤沢市固定資産評価審査委員会委員の2人が、令和4年9月30日をもって任期満了となるため、委員を選任することについて、議会の同意を求めるもの。
議会はこれに同意した。
任期は4年10月1日から7年9月30日までの3年間。
・前田貴美子氏(再推薦、藤沢市在住)
・小原多江子氏(再推薦、藤沢市在住)

○人権擁護委員候補者の推薦について
藤沢市域の人権擁護委員の4人が、令和4年12月31日をもって任期満了となるため、候補者を推薦することについて、議会の同意を求めるもの。
議会はこれに同意した。
任期は5年1月1日から7年12月31日までの3年間。
・田坂宜文氏(再推薦、藤沢市在住)
・田中一矢氏(再推薦、藤沢市在住)
・前田貴美子氏(再推薦、藤沢市在住)
・小原多江子氏(再推薦、藤沢市在住)

○オンブズマンの委嘱について
藤沢市オンブズマンの1人が、令和4年9月30日をもって任期満了となるため、新たなオンブズマンを委嘱することについて、議会の同意を求めるもの。
議会はこれに同意した。
任期は4年10月1日から7年9月30日までの3年間。
・大川宏之氏(再任、藤沢市在住)
・杵淵業明氏(再任、藤沢市在住)

○放課後児童クラブの整備
待機児童ゼロを目指すため、今後の整備に当たっては、国や県などの公有地の有効活用も視野に入れる必要があると考える。また、大規模クラブの開所も積極的に行うべきと考えるが、市の見解を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

法的観点から様々な取組を

(3)

決算に対する各派の要望・意見

全ての内容は
こちらから



民主・無所属クラブ、市民クラブ藤沢、ふじさわ湘風会、藤沢市公明党及びVisionふじさわは全決算等に賛成し、アクティブ藤沢は令和3年度一般会計決算に反対し、日本共産党藤沢市議会議員団は令和3年度一般会計決算、北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計ほか4特別会計等に反対しました。
ここでは、決算に対する各派の要望・意見の要旨をお知らせいたします。

市政・財政運営検証 次につながる取組を 民主・無所属 クラブ 9人

①働き方改革を取り入れ、女性職員の管理職登用を進めること。②会計年度任用職員については、欠員解消に努めるとともに、処遇に際しても不合理な差別が生じない対応を行うこと。③共生社会の実現を目指す、誰一人取り残さないまちづくりを推進し、人々の行動変容を促し、一人一人の権利を尊重し、丁寧な対応を行うこと。④防災分野におけるジェンダー平等を促進し、防災会議員における女性の登用率向上に向けた取組を。⑤航空機対策について、国が実施している防音工事区域の見直し調査において市内の測定場所を示すよう働きかけを行うこと。⑥性感染症対策として、性行為や性感染症の正しい知識や検査を受けやすい環境の整備と普及啓発を。⑦特別支援教育については、インクルーシブ教育を推進し、学校関係者への理解の啓発を。⑧教育の働き方改革を行い、教員不足のたぎの抜本的対策及び財源確保を。⑨新型コロナウイルス感染症により拡大した子どもの貧困や教育格差に対し、引き続き奨学金制度の拡充、就学援助の基準の維持、学習支援や相談支援などの対策を行うこと。⑩子どもたちの豊かな育ちにつながるようICT教育の促進を。⑪産後ケアを必要とする人もが利用をためらわない仕組みづくりを推し進めること。⑫村岡新駅設置については、環境への配慮を徹底し、環境成長産業を創出するなど、市民全体に納得がいく施策の構築を。⑬いずみの線延伸は、鉄道会社、国・県と連携しながら検討を進め、北部地域の活性化に向け実行性を高めること。⑭藤沢駅周辺地区整備は、行政の役割として政策目的を持って指導力を発揮していくこと。⑮事故を未然に防ぐため交差点に応じた道路安全対策を。⑯都市農業において、引き続き有機就農者の担い手育成を支援し、地元農業者の生産力向上を高める事業を。⑰感染症によって疲弊した地域産業が存続できるよう支援すること。⑱気候危機を重く受け止め、気候正義(※1)の考えのもとに、全庁、市民、企業と協働して進めること。⑲海洋汚染を防ぐため、リデュース(減らす)への視点を強める取組を進めること。⑳藤沢市民会館再整備は、文化的活動を楽しみ、心豊かな暮らしに資する拠点となるべく、文化芸術の政策を打ち立てること。㉑コロナ禍のオリムピックは礼賛一辺倒ではなく、違和感があったことも受け止め、経験を生かし今後も感染対策に取り組むこと。

市民に寄り添う みんなにやさしい藤沢を 市民クラブ藤沢 9人

①行政評価はDX推進と併せて評価方法や検証方法を見直し、内部からも外部からも評価検証できるように改善を。②ふるさと納税の新たな返礼品としてNFT(※2)・アート等を用意し、寄付額増加を目指すこと。③市民の家は、地域の実態に応じて市内全体の更新計画を立てること。④急傾斜地崩壊危険箇所について、民間の対策工事に対する補助等を検討すること。⑤迷惑電話防止機能付電話機購入補助の拡充と推進を行い、詐欺や悪徳商法に強いまちづくりを。⑥障がい者差別解消支援地域協議会のオンライン開催等、開催方法を工夫し、会議の質と意義を高め、意見交換や情報共有の場を大切にすること。⑦民間事業者と連携して放課後子ども教室の設置を拡大し、放課後の児童の居場所の充実を図ること。⑧廃棄物処理施設持込み時の支払いは、キャッシュレス決済を早急に導入し、市民満足度及び業務効率性を高めること。⑨地域医療の充実、緊急時の医療体制確保に不可欠なため、今後も各関係機関と積極的に話し合いの場を設け、連携・協力体制の維持向上に努めること。⑩藤沢聖苑での残骨灰の処理について、早期売却に向けスピード感を持って取り組むこと。⑪街頭労働相談について、駅だけではなくショッピングセンター等の様々な場所での開催を。⑫インバウンド回復に向けて不安を解消し、安心安全で楽しく親しめる観光地となるよう、住民の声に寄り添い、フォローすること。⑬漁港の荷さばきや製氷施設の長寿命化計画等を策定し、漁業者がスムーズに安全に仕事ができる環境づくりを。⑭誰もが楽しめる安心安全な公園づくりを進めるため、それぞれの公園の特色が生きる取組を。⑮藤沢駅南口の駐輪場が足りていないため、藤沢駅鶴沼海岸線の自転車駐車場の整備を早期に行うこと。⑯今後の拠点整備事業では

未来志向の市政運営 臨機応変な対応を ふじさわ湘風会 7人

①コロナ対応従事職員は、長期の災害対応として、超過勤務、休暇取得について積極的に支援すること。②デジタル革命に向け、デジタル能力と好奇心にあふれた職員の育成を。③住民にタイムリーに分かりやすく情報を伝えることができるよう、WEB技術と資質のある職員開発環境の提供を。④コスト意識を持ったふるさと納税事業を。⑤地域市民の家は役割と在り方を再検討し、利用率改善のため庁内連携した取組を。⑥地域で働く看護人材確保のため、医師会立看護専門学校運営費補助金の継続した支援を。⑦介護こそは、最後は人々の力によるものが大きい。介護ロボットを活用しつつ人材確保を。⑧医療的ケア児が毎日入浴できる環境を早期に実現すること。⑨高齢者外出支援として、巡回ルートの変更や便数を増やすなど、湘南すまいるバスの有効活用を。⑩子育て世代に優しい藤沢として、病児保育を積極的に進めること。⑪ふじさわ歩くプロジェクトの成果を市民に情報提供し、更なる健康増進政策を。⑫新型コロナウイルスは、対応に関して総括を行い、今後の方向性を市民と共有すること。⑬生きづらさを感じている若者等のドロップアウト支援は、民間と連携し、非営利的なマッチングプラットフォームの構築を。⑭地元商店の魅力を知ってもらうため、まちゼミ事業の積極的な展開を。⑮市内の田畑は危機に瀕しており、収益力が弱く用途転用が難しいことから、将来を見据え抜本的な改革を。耕作休眠地と農業作業地を区画整理し、作業地はAIを活用したスマート農業を推進すること。⑯漁業者の育成に向けヒアリングを行い、要望を反映した直接的な支援を。⑰公共工事等には、環境に配慮した再生セメントの活用を。⑱宮原百石線の浸水被害対策を。⑲ふじさわ学びネットワークを庁内横断的に活用し、人材と参加者のマッチングを図ること。⑳学校運営協議会は、子どもたちの生きる力を育むために地域の大人の応援体制の構築を。㉑下水道維持管理に関する包括的民間委託導入に際し、地元企業へも仕事回るような制度構築を実施すること。

100%の事務執行 市民サービス提供を 藤沢市公明党 5人

①自転車走行空間について、早期に全区間の整備完了を。②Society 5.0(※3)を実現するため、総合交通体系や都市計画等、3Dモデル都市を目指し、プラットフォーム(※4)を本格導入すること。③ミニシティ・スクールと地域学校協働活動の推進に当たり、中身を充実させ、運営方針を策定し、基本的概念を共有して統一感を持って取り組めるよう支援すること。④早い段階で高校3年生までの小児医療費助成拡大を実施すること。⑤小さく生まれた赤ちゃんの成長を記録できるリトルベビーハンドブックを作成すること。⑥犯罪機会論に基づく防犯対策について、市民に広く浸透するよう積極的な取組を。⑦避難行動要支援者の支援として、携帯端末を活用した避難共助支援システムを構築すること。⑧マンホールトイレや簡易仮設トイレの備蓄対策等、災害時のトイレ対策を事前に計画的に進めるよう支援すること。⑨がん治療における医療用ウェアや胸の補正具などの購入助成を行い、令和5年度中にアピアランスケア支援を進めること。⑩KDB、国保データベースのデータ分析により、高齢者の医療費削減につながるよう取り組むこと。⑪2050年カーボンニュートラル実現に向け、ブルーカーボンの取組を具体化し、CO2実質排出ゼロに資する取組を。⑫観光地維持整備に関する財源確保策として、観光客がスマホや携帯端末で気軽に安価に寄付ができるシステムの導入を推進。⑬藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会の組織強化を促進し、藤沢市障がい者スポーツ協会の設立支援を。

税金の使い方 暮らしの分野優先に 日本共産党藤沢市 議会議員団 4人

①靈感商法の被害者救済のため被害相談窓口の開設を。②下水道使用料の値上げは中止すること。③介護保険料は市からの繰り入れなどを講じて負担軽減を。④医療費は所得制限を設けず、18歳まで無料とすること。⑤特別養護老人ホームの待機解消に向け、介護労働者の処遇改善と併せて計画的な整備を。⑥高齢者の社会参加と移動支援のためバス等助成制度の創設を。⑦保育園の待機児童解消が図られたことだが、入所保育児童ゼロを目指すべき。⑧中学校給食はデリバリー方式から

長引く停滞や変化に 応じた課題解決策を アクティブ藤沢 1人

①不登校生が前年度比14人増870人。マスク等で日常会話にも重大な影響。教員不足に市長部局から支援を。②介護サービス縮小で認知機能や身体状態悪化と生活困難の複合化が進行。重層的支援と介護職へ緊急加算を。自殺者が一・五倍増加に転じたことも危惧。③中期財政見直しで収支乖離拡大の一方、村岡新駅受益者となる周辺企業に費用負担求める話も履行せず、明確な新駅を進める根拠を欠いている。④高校卒業まで小児医療費助成の対象拡大をすること。⑤湘南大庭の未来を考える会議は充分な検討を進められるよう予算確保をすること。⑥飲食店の下支えとなる経済支援策を講ずること。⑦下水道使用料金値上げは市民生活への影響を考慮し慎重になるべき。

財政構造の改善 計画的な事業見直しを Visionふじさわ 1人

①ふるさと納税の市税流出額は約18億円になるため国に対して制度是正を働きかけること。②職員持ち家に対する住居手当、地域手当は見直しす

(※1) 気候正義…先進国の人々が化石燃料を大量消費したことで引き起こした気候変動の責任を果たし、暮らしと生態系を重視した取組を行う事で、途上国の人々が被害を被っている不公平さを是正しようという考え。(※2) NFT…従来、容易にコピーや改ざんができるため、資産価値を持ち難かったデジタルデータに、証明書コードを付与することで、資産価値を持たせることを可能とした技術。(※3) Society 5.0…サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。(※4) プラトール…国土交通省が進める3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化のリーディングプロジェクト。

一般質問

主な質問と答弁

高齢者の外出支援

元気にいきいきと暮らせる環境整備

ICT導入による新たな施策を



神尾 里江 所属 無所属 民主クラブ

質問 これからの外出支援策については、時代や社会状況に応じた取組の推進と環境整備を行うことが必要と考える。ICT導入による新たな高齢者外出支援に向けた施策等も検討していくべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答弁 様々な場で活動していた高齢者が、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出することができなくなり、運動量が減少し、日常生活の活動量の変



環境整備を行い、産後ケア事業の利用促進に努める

質問 8年前に取り上げられた産後ケア事業が昨年始められた。事業における本市の



東木 久代 所属 市公明 藤沢 市公明

ハイリスク・多胎児家庭

産後ケア支援

育児負担軽減のため利用料低減を

質問 産後ケア事業が昨年始められた。事業における本市の

答弁 昨年度1か所から今年度は8か所に施設を拡充した。安心して育児を行うためには、産後ケアも早期に母親の心身の負担を早期に解消し、健康を守る必要があり、家庭内での支援が受けられず孤立しがちな方々への支援は不可欠と考える。そのため、保健師等による訪問事業や、子育て支援センターでの相談事業、日

質問 産後ケア事業の利用料は、多胎児の家庭が産後ケア事業を利用する際は、一人分の費用で利用できるような負担軽減を図っている。必要があると考えているが、市の考えを聞きたい。

答弁 今後予定しているアウトリーチ型サービスや、利用施設の拡充などの環境整備、充実を一層図る。出産医療機関など個別支援を行う施設との連携を強化し、切れ目ない支援を受けられる環境づくりを進めていく。

質問 産後ケア事業の利用料は、多胎児の家庭が産後ケア事業を利用する際は、一人分の費用で利用できるような負担軽減を図っている。必要があると考えているが、市の考えを聞きたい。

答弁 今後予定しているアウトリーチ型サービスや、利用施設の拡充などの環境整備、充実を一層図る。出産医療機関など個別支援を行う施設との連携を強化し、切れ目ない支援を受けられる環境づくりを進めていく。

質問 産後ケア事業の利用料は、多胎児の家庭が産後ケア事業を利用する際は、一人分の費用で利用できるような負担軽減を図っている。必要があると考えているが、市の考えを聞きたい。

質問 産後ケア事業の利用料は、多胎児の家庭が産後ケア事業を利用する際は、一人分の費用で利用できるような負担軽減を図っている。必要があると考えているが、市の考えを聞きたい。

答弁 今後予定しているアウトリーチ型サービスや、利用施設の拡充などの環境整備、充実を一層図る。出産医療機関など個別支援を行う施設との連携を強化し、切れ目ない支援を受けられる環境づくりを進めていく。

質問 産後ケア事業の利用料は、多胎児の家庭が産後ケア事業を利用する際は、一人分の費用で利用できるような負担軽減を図っている。必要があると考えているが、市の考えを聞きたい。

答弁 今後予定しているアウトリーチ型サービスや、利用施設の拡充などの環境整備、充実を一層図る。出産医療機関など個別支援を行う施設との連携を強化し、切れ目ない支援を受けられる環境づくりを進めていく。

質問 産後ケア事業の利用料は、多胎児の家庭が産後ケア事業を利用する際は、一人分の費用で利用できるような負担軽減を図っている。必要があると考えているが、市の考えを聞きたい。

答弁 今後予定しているアウトリーチ型サービスや、利用施設の拡充などの環境整備、充実を一層図る。出産医療機関など個別支援を行う施設との連携を強化し、切れ目ない支援を受けられる環境づくりを進めていく。

質問 産後ケア事業の利用料は、多胎児の家庭が産後ケア事業を利用する際は、一人分の費用で利用できるような負担軽減を図っている。必要があると考えているが、市の考えを聞きたい。

質問 公園に関して、市民の関心が非常に高いと思っている。市のホームページには、遊具点検の状況が毎月掲載されているが、どのような方法で点検を行っているのか、不具合があった遊具についてはどのような対応をしているのか聞きたい。近隣市では、遊具点検を行った際、点検済みシールを貼っている。お子さんなど公園利用者が見て、すぐに点検されていることが分かるようにすべきと考えるが、今後の点検結果の周知方法について、市の考え

答弁 遊具の点検については、毎月全ての公園をパトロール業務により巡回し、遊具の外観の目視や触診、可動部を動かして異音を聴診するなど、作動状況等の日常点検を実施している。これと併せ、専門業者へ委託し、目視や触診、聴診のほか、ハンマー等で打診し、異音を確認すること

質問 公園に関して、市民の関心が非常に高いと思っている。市のホームページには、遊具点検の状況が毎月掲載されているが、どのような方法で点検を行っているのか、不具合があった遊具についてはどのような対応をしているのか聞きたい。近隣市では、遊具点検を行った際、点検済みシールを貼っている。お子さんなど公園利用者が見て、すぐに点検されていることが分かるようにすべきと考えるが、今後の点検結果の周知方法について、市の考え

答弁 遊具の点検については、毎月全ての公園をパトロール業務により巡回し、遊具の外観の目視や触診、可動部を動かして異音を聴診するなど、作動状況等の日常点検を実施している。これと併せ、専門業者へ委託し、目視や触診、聴診のほか、ハンマー等で打診し、異音を確認すること

質問 公園に関して、市民の関心が非常に高いと思っている。市のホームページには、遊具点検の状況が毎月掲載されているが、どのような方法で点検を行っているのか、不具合があった遊具についてはどのような対応をしているのか聞きたい。近隣市では、遊具点検を行った際、点検済みシールを貼っている。お子さんなど公園利用者が見て、すぐに点検されていることが分かるようにすべきと考えるが、今後の点検結果の周知方法について、市の考え

答弁 遊具の点検については、毎月全ての公園をパトロール業務により巡回し、遊具の外観の目視や触診、可動部を動かして異音を聴診するなど、作動状況等の日常点検を実施している。これと併せ、専門業者へ委託し、目視や触診、聴診のほか、ハンマー等で打診し、異音を確認すること

質問 公園に関して、市民の関心が非常に高いと思っている。市のホームページには、遊具点検の状況が毎月掲載されているが、どのような方法で点検を行っているのか、不具合があった遊具についてはどのような対応をしているのか聞きたい。近隣市では、遊具点検を行った際、点検済みシールを貼っている。お子さんなど公園利用者が見て、すぐに点検されていることが分かるようにすべきと考えるが、今後の点検結果の周知方法について、市の考え



安心して公園利用できるよう、点検結果を周知する

質問 小中学校の教職員定数改善と予算増を

答弁 本市は、独自で新入

質問 小中学校の教職員定数改善と予算増を

答弁 本市は、独自で新入

意見書

1件を神奈川県へ提出

養親希望者手数料負担軽減事業の導入を求める意見書

親希望者手数料負担軽減事業を実施していないが、神奈川県人口ビジョンにおける合計特殊出生率の向上に向けた取組を推進するためには、事情があつて育てられない子を引き取り、戸籍上も我が子として養育する養親を支援する養親希望者手数料負担軽減事業を導入するべきと考える。

民法817条の2以降で定める特別養子縁組制度については、厚生労働省は社会的養育の充実を図るため、養親希望者手数料負担軽減事業を含む養子縁組民間あっせん機関助成事業予算を拡充し、都道府県等に対し、民間あっせん機関の有無に関わらず、養親希望者手数料負担軽減事業について、積極的な実施を依頼している。

また、全ての教職員が心身共に健康な状態で子どもたちと向き合い、充実感を持って仕事に打ち込めるよう、引き続き、教職員の働き方改革に取り組む。

神奈川県は、現状、養

また、全ての教職員が心身共に健康な状態で子どもたちと向き合い、充実感を持って仕事に打ち込めるよう、引き続き、教職員の働き方改革に取り組む。

また、全ての教職員が心身共に健康な状態で子どもたちと向き合い、充実感を持って仕事に打ち込めるよう、引き続き、教職員の働き方改革に取り組む。

また、全ての教職員が心身共に健康な状態で子どもたちと向き合い、充実感を持って仕事に打ち込めるよう、引き続き、教職員の働き方改革に取り組む。

また、全ての教職員が心身共に健康な状態で子どもたちと向き合い、充実感を持って仕事に打ち込めるよう、引き続き、教職員の働き方改革に取り組む。

また、全ての教職員が心身共に健康な状態で子どもたちと向き合い、充実感を持って仕事に打ち込めるよう、引き続き、教職員の働き方改革に取り組む。

また、全ての教職員が心身共に健康な状態で子どもたちと向き合い、充実感を持って仕事に打ち込めるよう、引き続き、教職員の働き方改革に取り組む。

石名坂善行線整備

バリアフリーと浸水の対策を
段差解消実施と排水計画策定する



石井 世悟
市長

質問 善行駅周辺のバリアフリー化事業について、工事の進捗状況を聞きたい。

答弁 本事業は地域の意見を反映し、善行駅周辺地区移動円滑化基本構想及び道路特定事業計画に基づき、歩道の拡幅や段差解消を主な目的として、道路改良工事等を実施している。

今年度は、善行25号線の道路改良工事を実施しており、来年度以降には、善行25号線の未整備区間と、善行5号線、石名坂善行線の整備を順次進めていき、令和8年度の事業完了を目指している。

個別避難計画の策定
市民伴走型の取組を



武藤 正人
市議員

質問 個別避難計画の策定について、概要及び策定状況



バリアフリー対策と浸水対策の両面が要求される

また、本路線は浸水エリアであるが、浸水対策についても、併せて聞きたい。

答弁 バリアフリー対策については、歩道を車道と段差の少ないセミフラット形式にして波うちを解消するとともに、幅員を一・五メートルから二・五メートルに拡幅する。

浸水対策については、本路線沿線の一部が内水浸水想定区域に指定されている。今年度実施している道路予備設計委託において、浸水被害を助長しないよう、道路排水計画を策定し整備を進める。

状況を把握し、市の関係部署等において情報を共有し、具体的な体制づくりに向け、た協力を重ね、新たなワーキンググループを発足した。

質問 市民との取組では、力を合わせて課題や困難に挑む伴走型の取組が重要だが、策定に向けた方向性について市の見解を聞きたい。

答弁 避難行動要支援者を支援する自治会・町内会の理解の輪を広げることが重要である。自治会・町内会相互の意見交換が個別避難計画作成への理解を得るのに有効であることから、各地区防災協議会の協力を得て、ケースに応じた計画作成の実施手法を検討する。

また、ワーキンググループが中心となり、方針会議の開催や避難訓練などを実施しながら、おおむね5年後を目途に、全市への展開を念頭に置いた実施手法の確立に向け、業務委託の導入等を含め、段階的に取り組む。

見える緑を増やす
環境政策として推進



清水 竜太郎
市議員

質問 藤沢の緑は郊外に多く、都市部や住宅街に少ない。人が行き交う中心部に「見える緑」を増やすことが藤沢の価値向上につながると思うが、市の見解を聞きたい。

答弁 市街地の緑は藤沢のまちの景観形成に寄与する重要な要素であると認識している。

しかしながら、近年、売買や相続に伴う土地利用転換等により、民有地の緑は微減傾向になっていることから、今後の市街地の良好な緑の確保が課題である。



見える緑を増やし藤沢の価値向上を

質問 緑を守る担当課は建設部門に入っているが、時遅れであり、独立した部署か環境部に入れるべきと思うが、市の考えを聞きたい。

答弁 近年、地球環境の劣化が課題となっているが、本市でも都市緑化の推進や生物多様性の保全について、様々な取組を行っている。

例えば、遠藤笹窪谷公園整備では、自然が持つ多様な機能を活用した生物多様性の保全や、緑の保全と遊水地機能を持たせた防災減災に寄与するグリーンインフラの考えを取り入れた整備を実施している。

デマンド交通の安定的継続
クロスセクター効果の算出
財政支援を増やし市民負担軽減を



土屋 俊則
市議員

質問 高齢者の移動支援について、アンケートを取るこのことだが、クロスセクター効果(※)も算出できると考えるが、市の見解を聞きたい。

の試算は有効性の高い手法だが、財政支出を比較し、代替の費用が大きいときにクロスセクター効果が認められることから、本市の現状に鑑みて、算出についてはなじまないものと考えている。

質問 乗合タクシーなどのデマンド交通事業は利用料金が低いと言われている。クロスセクター効果を算出し、分野別代替費用の兼ね合いの中で、市の財政支援をさらに増やし、利用料金を市民負担を抑えるべきではないか。

答弁 のりあい善行などの乗合タクシーは、地域組織が運行主体となり、交通事業者に運行を委託している。市は運行を継続するために、運行主体である地域組織に毎年度、車両リース費に相当する額と、運営費と

全体の奉仕者として
憲法に基づく行政を



原田 健
市議員

質問 安倍元総理の逝去に伴う半旗を掲げたことについて、また、いわゆる旧統一教会系団体の直系団体が市民会館で本年9月に催しを行ったことについて、

そうした団体に対する情報公開を行うには公開基準が無いとのことであるが、これらの対応に憲法上どのような問題があるか、市の見解を聞きたい。

答弁 元総理大臣の逝去に際して半旗を掲げたことは、哀悼の意を表したものであり、憲法や地方公務員法で制限される宗教的活動や政治的行為には当たらないものと捉えている。

また、公共施設の利用等への対応については、条例や規則等に基づき、判断している。

市のゴミ指定収集袋
レジ袋として活用を



井上 裕介
市議員

質問 プラスチックごみの削減について、行政だけでなく、官民連携し、市民と一体となって施策を進めて

いく必要があるが、その効果については、市の見解を聞きたい。

答弁 本市は日本財団、セブンイレブン・ジャパン、ローソン、ライフイット、ウォータースタンド、小田急電鉄や三共自動車学校など様々な事業者と協定を締結し、プラスチックごみ削減や資源循環につながる取組、環境啓発に取り組んでいる。

これらの取組は、事業者自らが、その従業員、また、消費者となる市民への意識改革にもつながり、本市におけるプラスチックごみの削減や持続可能な循環型社会形成に寄与しているものと考えている。

指定収集袋を1枚から購入できれば環境負荷軽減につながる

から購入可能とし、買い物袋として活用するといった手法も考えられるが、市の見解を聞きたい。

答弁 市民が買い物の際にやむを得ずレジ袋を購入する場合もあることから、レジ袋ではなく指定収集袋を販売方法等の課題はあるが、官民連携でプラスチック削減に取り組んでいく。

購入できるようなことにより、さらなるレジ袋の削減が図られ、環境負荷の軽減につながることを期待される。

(※) クロスセクター効果…地域公共交通の運行に対して行政が負担している財政支出と、地域公共交通を廃止した時に追加的に必要となる分野別代替費用、例えば病院送迎バスなどの実施費用というコスト同士を比較するもの。

一般質問

主な質問と答弁

家庭裁判所出張所誘致

司法を均一に受ける権利の確保

市の積極的な姿勢を期待



神村 健太郎
ふじさわ市 湘風会

質問 施政方針では、市民が司法を均一に受ける権利に格差が生じることがないよう、藤沢簡易裁判所に家庭裁判所出張所を併設することについて、国に対して要望するとうたわれていたが、その後の市の推進体制と今後のスケジュール、及び併設によるメリットを聞きたい。

答弁 市の推進体制としては、市民自治部を中心に係部と連携して進めている。現在、神奈川県弁護士会、庁内関係部及び近隣市町と

現状の確認、情報共有を図り、今後の進め方について協議を行っている。今後は、本市や県弁護士会を中心に家庭裁判所出張所の誘致を求め、年度内を目標に、要請をまとめるための協議会を設置していく。管轄となる5市1町の人口は120万人を超えており、横浜家庭裁判所本庁の管内人口約51.4万人の23パーセントとなることから、相当の件数を扱うことになる。

質問 湘南藤沢活性化コンソーシアムが設立された背景について聞きたい。また、冠を「湘南藤沢」とし、江の島から鶴沼海岸周辺に設

答弁 湘南藤沢活性化コンソーシアムが設立された背景については、冠を「湘南藤沢」とし、江の島から鶴沼海岸周辺に設

質問 勝胱がん患者や高齢者の中には、尿失禁の対処として尿漏れパッドを使用している人も多く、外出中にトイレを使用した際、サニタリーボックスやごみ箱

答弁 前立腺がんや膀胱がんの手術を受けた男性の多くは、術後しばらく尿漏れパッドを必要とする場合があり、そのような人が外出先での使用済みの尿漏れパッドの処分が苦慮していることから、男性トイレにサニタリーボックスを設置する必要性は高いものと認識している。

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい



支援の場を見える化し、子どもたちをつなぐ役割を果たす

子どもの育ちを支える

地域におけるセーフティネット

支援の場と子どもをつなぐ取組を



谷津 英美
民主 無所属
クラブ

質問 地域コミュニティの希薄化が言われてきた中、コロナ禍により、地域の顔が見えるつながりの場が失われ、子どもたちのセーフティネットが極めて脆弱に

答弁 コロナ禍における感染症拡大の波を受け、地域づくりや寄与していた活動や取組が制約を余儀なくされた。コロナ禍では、困窮する子育て家庭の窮状や、子どもの孤立の問題が報道等によって可視化され、子どもの育ちを支援する地域活動の重要性が再認識される機会となった。

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい



山内 幹郎
民主 無所属
クラブ

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 湘南藤沢活性化コンソーシアムが設立された背景について聞きたい。また、冠を「湘南藤沢」とし、江の島から鶴沼海岸周辺に設

答弁 湘南藤沢活性化コンソーシアムが設立された背景については、冠を「湘南藤沢」とし、江の島から鶴沼海岸周辺に設

質問 勝胱がん患者や高齢者の中には、尿失禁の対処として尿漏れパッドを使用している人も多く、外出中にトイレを使用した際、サニタリーボックスやごみ箱

答弁 前立腺がんや膀胱がんの手術を受けた男性の多くは、術後しばらく尿漏れパッドを必要とする場合があり、そのような人が外出先での使用済みの尿漏れパッドの処分が苦慮していることから、男性トイレにサニタリーボックスを設置する必要性は高いものと認識している。

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

質問 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

答弁 環境省では、今後の目指すべき社会像として地域循環共生圏を挙げている。これは各地域が地域資源を生かして自立・分散型の社会を形成すると同時に、地域間で補完し支え合うとい

学級諸費集金袋			
小学校	年	組	氏名
藤沢市立	こと	から	3500
学級	教村	ひ	2320
遠足代			700
教材費	学級費		250
教材費	学級費		2000

学校徴収金の公費化は保護者や教職員の負担軽減となる



西 智
市民クラブ
藤沢

学校徴収金

保護者負担の軽減を

質問 市立小学校の教材費や学級費の徴収について、現金を集金袋で持参する手段が取られており、市全体で年間2億円を超える額が教室でやりとりされている。紛失、盗難のリスクがあり、保護者、教職員の負担になっている。口座引き落としを行っている。口座引き落としやクレジットカード決済を導入し、業務効率化を図るべきと考えるが市の見解は。

答弁 口座引き落としを活用することが改善の手法のひとつと考えており、導入について検討を重ねている。

質問 朝顔の鉢や算数プロ

答弁 他市で公費化している事例や国の動向等について注視していきたい。



ウィッグ及び胸部補正具購入助成の具体的な検討を進める

(※)インキュベーション施設…創業初期の起業家や企業を支援する目的のもと、通常よりも安価な賃料で事務所スペースを提供したり、専門家によるサポートを提供したりする施設。

常任委員会・特別委員会の動き

大庭台墓園立体墓地再整備事業

利用者の動線と環境資源に配慮した再整備を進める

厚生環境

厚生環境常任委員会は、9月7日に開催され、議案1件、陳情1件を審査した。その結果、議案は可決すべきもの、陳情は趣旨不了承と決定した。

また、大庭台墓園立体墓地再整備事業の進捗状況について報告を受けた。

大庭台墓園立体墓地は、近年のペースで新規利用者が増加した場合、令和6年度までに墓所が不足する状況が見込まれており、今後のアクセスをスムーズにするため、防滑性を重視した歩きやすい園路を設ける。また、平面形状を馬蹄形とし、各階には広い中央廊下を設け、シンプルで分かりやすい利用者動線を確保する。建設予定地の地盤高低差約4メートルを活用し、地下1階の階高を高くすることで地下の納骨壇スペースの開放性を確保する。

新立体墓地は、既存立体墓地との一体性及び合葬納骨壇から合祀墓への改葬を考慮し、既存立体墓地の西側に寄せて配置することで、既存立体墓地の北と南の樹林帯面積を確保し、西側園路に沿った外構部分には、適度な配植を行う。入口付近には車いす利用者用駐車スペースを設けるとともに、合祀墓及び既存立体墓地へのアクセスをスムーズにするため、9月6日に開催され、議案3件、陳情2件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は全て趣旨不了承と決定した。



再整備事業により市民の墓地需要に継続して応える

建設経済常任委員会は、9月6日に開催され、議案3件、陳情2件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は全て趣旨不了承と決定した。

また、①交通マスタープラン等交通関連計画の進捗管理と見直しに向けた取組、②藤沢駅前街区における官民連携まちづくりの促進に向けた支援制度の構築、③西部地域のまちづくりの進捗状況、④藤沢市雨水管理総合計画の策定(報告)、⑤ふじさわ下水道中期経営計画の策定(素案)——以上5件について報告を受けた。

また、2階の面積を小さくし、建物外周部への圧迫感を抑え、加えて、建物全体に庇や傾斜屋根を架け、落ち着きのある外観を形成し、周辺環境との調和を図っていく。

合祀墓は、2つの立体墓地に囲まれる場所に配置するため、シンボル性を持たせ、かつ圧迫感を感じさせないよう高さを抑えた形態とする。また、合祀墓の内部を見えにくくするため、一部を屋根で覆った壁で囲み、あわせて、献花台やモニメントを設置し、墓参のための空間を確保する。

今後の予定については、当初、新立体墓地及び合祀墓の供用開始時期を7年度

中としていたが、改めて建設工事の工期を検討したところ、従来の想定よりも長い工期が必要となったことから、新立体墓地の供用開始時期は8年度の上半期を予定している。

総務常任委員会は、9月9日に開催され、議案4件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

また、①公共料金の見直し(令和3年度藤沢市内部統制に関する取組結果報告書)②個人情報保護に関する法律の改正に伴う本市の対応に係る検討状況——以上3件について報告を受けた。

公共料金の見直し 社会的公平性を確保する

総務

公共料金の見直しは、将来にわたって持続可能な財政運営とするための取組の一つとして、藤沢市行財政改革2024実行プランに位置づけ、関係事務を進めていく。

この見直しは、おおむね3年に一度実施しているが、近年では、令和2年度に新

型コロナの影響等を踏まえ、改定を見送っている。見直しの目的としては、受益と負担の適正化を図り、社会的公平性を確保するために実施するもので、現在無料としている行政サービスを含め、全ての公共料金を対象とする。

ただし、法令に定めのあるものや、国・県の算定方式と異なるものは対象から除外し、審議会等で定期的に見直しを行っているものや、現在無料の自転車等駐車場等は別途協議するものとする。

また、見直しの算定基準については、一般の市民が施設等を使用する場合、営利活動で使用する場合で算出根拠に差を設定する。改定料金の算定については、改定が急激な市民負担とならないよう、一定の

改定率を乗じる(ことにより、値上がり幅を抑えるための計算を行うこととする。一例として、基準コストが1千円で、現行料金が500円のものであれば、受益者負担割合が50%となり、これを前回の改定率に照らし合わせると、改定率が120%となるため、現行料金の500円に120%を乗じた600円が改定料金となる。

今後の予定として、今年度については、使用料・手数料を扱う対象各課において、まずはコスト分析を実施し、その取組内容について、2月市議会定例会で中間報告をする。

来年度については、6月定例会で改定案を報告し、9月定例会で条例を改正した後、市民周知を行い、6年4月から施行するスケジュールとする。



防災の体感・体験により防災意識向上を図る = 藤沢市防災フェア

なお、平成17年度に供用を開始した合葬納骨壇については、収蔵期間を20年と定めていることから、当初の予定どおり令和7年度中の供用開始を前提に計画を進めていく。

受益と負担の適正化を図り、社会的公平性を確保するために実施するもので、現在無料としている行政サービスを含め、全ての公共料金を対象とする。

ただし、法令に定めのあるものや、国・県の算定方式と異なるものは対象から除外し、審議会等で定期的に見直しを行っているものや、現在無料の自転車等駐車場等は別途協議するものとする。

また、見直しの算定基準については、一般の市民が施設等を使用する場合、営利活動で使用する場合で算出根拠に差を設定する。改定料金の算定については、改定が急激な市民負担とならないよう、一定の改定率を乗じる(ことにより、値上がり幅を抑えるための計算を行うこととする。一例として、基準コストが1千円で、現行料金が500円のものであれば、受益者負担割合が50%となり、これを前回の改定率に照らし合わせると、改定率が120%となるため、現行料金の500円に120%を乗じた600円が改定料金となる。

今後の予定として、今年度については、使用料・手数料を扱う対象各課において、まずはコスト分析を実施し、その取組内容について、2月市議会定例会で中間報告をする。

来年度については、6月定例会で改定案を報告し、9月定例会で条例を改正した後、市民周知を行い、6年4月から施行するスケジュールとする。

改定率を乗じる(ことにより、値上がり幅を抑えるための計算を行うこととする。一例として、基準コストが1千円で、現行料金が500円のものであれば、受益者負担割合が50%となり、これを前回の改定率に照らし合わせると、改定率が120%となるため、現行料金の500円に120%を乗じた600円が改定料金となる。

今後の予定として、今年度については、使用料・手数料を扱う対象各課において、まずはコスト分析を実施し、その取組内容について、2月市議会定例会で中間報告をする。

来年度については、6月定例会で改定案を報告し、9月定例会で条例を改正した後、市民周知を行い、6年4月から施行するスケジュールとする。

災害対策等特別委員会は、9月3日に開催され、藤沢市役所本庁舎において実施された、令和4年度藤沢市防災フェアを視察した。

藤沢市防災フェアは、防災の体感・体験により防災意識向上を図ることを目的として実施された。当日は、消防団員や消防士による放水体験や、防災グッズの展示などがあり、多くの市民が参加した。

藤沢市防災フェアは、防災の体感・体験により防災意識向上を図ることを目的として実施された。当日は、消防団員や消防士による放水体験や、防災グッズの展示などがあり、多くの市民が参加した。

藤沢市防災フェアは、防災の体感・体験により防災意識向上を図ることを目的として実施された。当日は、消防団員や消防士による放水体験や、防災グッズの展示などがあり、多くの市民が参加した。

藤沢市防災フェアは、防災の体感・体験により防災意識向上を図ることを目的として実施された。当日は、消防団員や消防士による放水体験や、防災グッズの展示などがあり、多くの市民が参加した。

藤沢駅前街区の官民連携まちづくり 所有者及びテナント誘致に 向けた支援制度を構築

建設経済

建設経済常任委員会は、9月6日に開催され、議案3件、陳情2件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は全て趣旨不了承と決定した。

また、①交通マスタープラン等交通関連計画の進捗管理と見直しに向けた取組、②藤沢駅前街区における官民連携まちづくりの促進に向けた支援制度の構築、③西部地域のまちづくりの進捗状況、④藤沢市雨水管理総合計画の策定(報告)、⑤ふじさわ下水道中期経営計画の策定(素案)——以上5件について報告を受けた。

藤沢駅前街区における官民連携まちづくりの促進に向けた支援制度の構築について

藤沢駅前周辺地区では、都市基盤整備を中心とした事業を推進することで、周辺の民間施設の更新を誘発し、藤沢駅前周辺地区の再活性化を目指している。官民連携による駅前まちづくりに向け、藤沢駅前街区まちづくりガイドラインの作成を進めている。ガイドラインでは、民間施設の在り方方針を定めるとともに、方針に沿った民間施設の建て替え

が積極的に行われるための支援策を位置づけており、支援策を実施することで、官民連携による駅前まちづくりを促進する。

支援策としては、建築物自体に対する緩和、建築物の所有者への支援、テナント誘致に対する側面支援を実施する。

建築物の所有者への支援においては、固定資産税・都市計画税の減免を目的とした条例を新たに制定するため素案をまとめた。適用範囲としては、藤沢駅前周辺地区再整備構想・基本計画で定めた駅前街区及び南北デッキに接する地域のうち、容積率が600%以上の区域とする。

テナント誘致に対する側面支援の補助制度として、

民間施設の建て替えを促進するため、建物供用開始時の入居支援制度を新設する。今後は、本年12月からパブリックコメントを実施し、

令和5年2月市議会定例会に条例案を上げ、5年4月に条例の施行及び支援制度の運用開始を予定している。

公民館内の貸出用図書は、用途に応じた床や壁の材質とし、使いやすさを考慮した什器等を設置する計画とする。

施設内は、障がい者団体へのヒアリングを踏まえ、屋外スロープの勾配を緩やかにし、館内各所に手すりを設置する。また、光警報装置、点字ブロック、触知案内図及び音声案内装置の設置に加え、館内の壁やドアにカラーユニバーサルデザインを取り入れるなど、共生社会に対応し、バリアフリーに配慮した計画としている。外観は、都市景観アドバイザー会議の指摘を

踏まえ、色調は明るさを抑え、建物の規模感を軽減する色彩計画とする。

公民館及び第6分団器具置場の建設工事費並びに、既存施設の解体費等を合わせた概算工事費については、基本設計時に積算した約30億円を想定していたが、社会情勢による物価高騰の影響から、建設工事費の増額が見込まれるため、少しでも圧縮を図れるよう精査を進めていく。

今後の予定としては、9月末に実施設計業務を完了した後、令和5年度から2か年程度の工期を経て、7年度中の供用開始を想定している。

9月5日、12日及び27日に開催された。9月5日の委員会で、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

9月12日の委員会で、議案2件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

9月27日の委員会で、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

村岡公民館等再整備事業 バリアフリーに配慮した 地域の拠点施設

子ども文教

子ども文教常任委員会は、9月8日に開催され、陳情1件を審査した。その結果、陳情は趣旨不了承と決定した。

また、村岡公民館等再整備事業の進捗状況について報告を受けた。

この拠点施設として、より効率的で質の高い市民サービスを提供するため、本市民施設再整備基本方針及び公共施設再整備プランに基づき、地域包括支援センター等を含めた複合施設として移転による再整備をするものである。このたび、施設の内外装や外構等の仕様をはじめとした実施設計をまとめた。

全体配置として、敷地内

踏まえ、色調は明るさを抑え、建物の規模感を軽減する色彩計画とする。

公民館及び第6分団器具置場の建設工事費並びに、既存施設の解体費等を合わせた概算工事費については、基本設計時に積算した約30億円を想定していたが、社会情勢による物価高騰の影響から、建設工事費の増額が見込まれるため、少しでも圧縮を図れるよう精査を進めていく。

今後の予定としては、9月末に実施設計業務を完了した後、令和5年度から2か年程度の工期を経て、7年度中の供用開始を想定している。

行政改革等特別委員会は、8月23日に開催され、藤沢市行財政改革の推進について審査した。

この日の委員会で、藤沢市行財政改革2024実行プラン令和3年度実績について審査を行った。

補正予算

補正予算常任委員会は、

この日の委員会で、藤沢市行財政改革2024実行プラン令和3年度実績について審査を行った。

この日の委員会で、藤沢市行財政改革2024実行プラン令和3年度実績について審査を行った。

この日の委員会で、藤沢市行財政改革2024実行プラン令和3年度実績について審査を行った。

議案等審議結果一覧

○：賛成 ×：反対
 △：賛否が分かれる
 -：陳情を審査する委員会(付託委員会)への委員の選出なし

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否					
			民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ
市長提出								
20	工事請負契約の締結について(御所ヶ谷緑地法面対策工事) 付託せず	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
21	工事請負契約の締結について(鵜南小学校等改築工事(第2期建築工事)) 付託せず	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
22	工事請負契約の締結について(鵜南小学校等改築工事(第2期機械設備工事)) 付託せず	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
23	工事請負契約の締結について(鵜南小学校等改築工事(第2期電気設備工事)) 付託せず	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
24	工事請負契約の締結について(白浜養護学校空調設備更新工事(機械)) 付託せず	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
25	市道の認定について(六会913号線ほか1路線) 建設経済	可決 4.9.15	○	○	○	○	○	○
26	市道の廃止について(本藤沢1274-5号線ほか2路線) 建設経済	可決 4.9.15	○	○	○	○	○	○
27	指定管理者の指定について(藤沢本町駅自転車駐車場及び藤沢本町駅第2自転車駐車場) 付託せず	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
28	藤沢市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正について 総務	可決 4.9.15	○	○	○	○	○	○
29	藤沢市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 総務	可決 4.9.15	○	○	○	○	○	○
30	藤沢市非常勤職員の報酬等に関する条例の一部改正について 付託せず	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
31	藤沢市常勤の特別職職員の給与に関する条例の臨時特例条例の制定について 付託せず	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
32	藤沢市市税条例の一部改正について 総務	可決 4.9.15	○	○	○	○	○	○
33	藤沢市手数料条例の一部改正について 総務	可決 4.9.15	○	○	○	○	○	○
34	藤沢市自転車等駐車場条例の一部改正について 建設経済	可決 4.9.15	○	○	○	○	○	○
35	藤沢市公衆浴場法施行条例の一部改正について 厚生環境	可決 4.9.15	○	○	○	○	○	○
36	令和4年度藤沢市一般会計補正予算(第5号) 補正予算	可決 4.9.5	○	○	○	○	○	※1
37	令和4年度藤沢市一般会計補正予算(第6号) 補正予算	可決 4.9.15	○	○	○	○	×	○
38	令和4年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算	可決 4.9.15	○	○	○	○	×	○
39	令和3年度藤沢市下水道事業費特別会計剰余金の処分及び決算の認定について 決算	可決及び認定 4.10.7	○	○	○	○	×	○
40	令和4年度藤沢市一般会計補正予算(第7号) 補正予算	可決 4.9.27	○	○	※2	○	○	○
41	教育委員会委員の任命について 付託せず	同意 4.9.27	○	○	※2	○	○	○
42	固定資産評価審査委員会委員の選任について 付託せず	同意 4.9.27	○	○	※2	○	○	○
43	オンブズマンの委嘱について 付託せず	同意 4.9.27	○	○	※2	○	○	○

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否					
			民無ク	市民ク	湘風会	公明党	共産党	アクテ
議員提出								
2	養親希望者手数料負担軽減事業の導入を求める意見書について 付託せず	可決 4.10.7	○	○	○	○	○	○
認定								
1	令和3年度藤沢市一般会計歳入歳出決算の認定について 決算	認定 4.10.7	○	○	○	○	×	×
2	令和3年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算の認定について 決算	認定 4.10.7	○	○	○	○	×	○
3	令和3年度藤沢市墓園事業費特別会計歳入歳出決算の認定について 決算	認定 4.10.7	○	○	○	○	○	○
4	令和3年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定について 決算	認定 4.10.7	○	○	○	○	×	○
5	令和3年度藤沢市湘南台駐車場事業費特別会計歳入歳出決算の認定について 決算	認定 4.10.7	○	○	○	○	○	○
6	令和3年度藤沢市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定について 決算	認定 4.10.7	○	○	○	○	×	○
7	令和3年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計歳入歳出決算の認定について 決算	認定 4.10.7	○	○	○	○	×	○
8	令和3年度藤沢市民病院事業会計決算の認定について 決算	認定 4.10.7	○	○	○	○	○	○
陳情								
11	加齢性難聴による補聴器購入費の助成についての陳情 厚生環境	趣旨不承 4.9.7	○	×	×	×	○	○
12	藤沢市内の公共施設の断熱性能の向上を求める陳情 建設経済	趣旨了承 4.9.6	○	○	○	○	○	-
13	藤沢市内の建築物に再エネ設備の導入促進を求める陳情 建設経済	趣旨了承 4.9.6	○	○	○	○	○	-
14	神奈川県に対する養親負担軽減事業導入に関する意見書提出を求める陳情 子ども文教	趣旨不承 4.9.8	○	○	○	○	○	-

※1 欠席した議員：原田 建 (9月5日の本会議を欠席)
 ※2 欠席した議員：堺 英明 (9月27日の本会議を欠席)

会派名	省略表示	所属議員			
民主・無所属クラブ(9)	民無ク	安藤好幸 大矢 徹 有賀正義	神尾江里 永井 譲	谷津英美 柳田秀憲	清水竜太郎 竹村雅夫
市民クラブ藤沢(9)	市民ク	石井世悟 栗原貴司 井上裕介	西 智 松長由美絵	桜井直人 北橋節男	佐賀和樹 山口政哉
ふじさわ湘風会(7)	湘風会	杉原栄子 吉田淳基	甘粕和彦 神村健太郎	佐野 洋 加藤 二	堺 英明
藤沢市公明党(5)	公明党	平川和美 松下賢一郎	東木久代	武藤正人	塚本昌紀
日本共産党藤沢市議会議員団(4)	共産党	土屋俊則	味村耕太郎	山内幹郎	柳沢潤次
アクティブ藤沢(1)	アクテ	原田 建			
Visionふじさわ(1)	Vis	友田宗也			

※()内の数字は会派内の人数、下線は会派代表者、会派内の氏名は議席番号順

お知らせ

「ふじさわ市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、会議録をご覧ください。

なお、会議録は、図書館、市民センター、公民館、市政情報コーナー(市役所本庁舎4階)、または市議会のホームページでご覧いただけます。9月定例会の会議録は11月下旬頃から閲覧できます。

また、目の不自由な方や読みづらい方のために、点字と声のふじさわ市議会だよりを発行していますので、ご希望の方は、議会事務局議事課までご連絡ください。

傍聴についてのお知らせ

閉会中に開催する諸会議及び12月定例会は、右の日程表のとおり開催する予定です。

なお、皆様の健康を守る観点から、新型コロナウイルス感染拡大の影響が収束されるまでの間、議会の傍聴を縮小しております。

本会議・常任委員会・特別委員会・陳情を審査する議会運営委員会はインターネット中継を行いますので、そちらをご視聴いただきますようお願いいたします。日時等についても変更になることがありますので、詳しい内容はホームページでご確認ください。

【問合せ】議会事務局議事課
 ☎0466-50-3566(直通)
 FAX 0466-24-0123
 Eメール fj-giji@city.fujisawa.lg.jp

請願と陳情のご案内

12月定例会では、請願・陳情ともに11月28日(月)正午までに提出されたものを審査します。

また、請願者と陳情者は、希望により委員会において趣旨説明(意見陳述)を行うことができます。



閉会中に開催する諸会議

開催日	開催時刻	会議名
11月18日(金)	9:30	藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
11月22日(火)	9:30	災害対策等特別委員会
11月28日(月)	15:30	議会運営委員会

12月定例会

開催日	開会時刻	会議名
12月1日(木)	10:00	本会議(議案の説明など)
5日(月)	10:00	本会議(議案の審議など)
6日(火)	9:30	建設経済常任委員会
7日(水)	9:30	厚生環境常任委員会
8日(木)	9:30	子ども文教常任委員会
9日(金)	9:30	総務常任委員会
12日(月)	9:30	補正予算常任委員会
13日(火)	9:30	議会運営委員会
15日(木)	10:00	本会議(議決、一般質問など)
16日(金)	10:00	本会議(一般質問)
19日(月)	10:00	本会議(一般質問)
20日(火)	10:00	本会議(一般質問)
21日(水)	10:00	本会議(一般質問、議決など)
	本会議終了後	広報広聴委員会

※各本会議の日には、9:30から議会運営委員会が開催されます。